



～三和分校 修学旅行特集号～

11月15日～17日は三和分校の修学旅行を実施しました。本来、6月実施の予定が、台風2号の接近により延期。当初の予定より1泊短縮とはなりましたが、2・3年生を対象とした2年に一度の沖縄修学旅行を、4年ぶりに実施することができました。

15日は、神戸空港から那覇空港までの航空機で移動です。「飛行機は初めて！」という生徒もあり、搭乗手続きの流れにも、やや緊張した様子がみられました。離陸し、お弁当を食べだした頃には、少しずつ緊張も和らぎました。窓からは種子島が見えるなど、天候も安定している様子がかげえました。那覇空港では、三和分校を出発したときとの気候の違いを実感！しました。

沖縄到着後は、まずは戦跡見学で平和学習を行いました。「平和祈念公園～平和の礎」そして「ひめゆりの塔～ひめゆり平和祈念資料館」を訪ねました。バスガイドさんの説明、展示されている資料などから、平和について学ぶと共に、戦争中に、自分たちと同年代の多くの若者達も犠牲となったことについても、思いが広がりました。



宿泊したリザンシーパークホテル谷茶ベイは、大型のリゾートホテルです。他校の修学旅行生も宿泊していました。夕食は「ビュッフェ方式」…いわゆるバイキングです。思い思いのメニューを、何度もおかわりしながら、気持ちとおなかをいっぱい満たしました。

16日は、沖縄県の中中部「美ら海水族館」の見学です。驚いたことは、「ジンベイザメ」の大きさ！水槽の最前列で実際の大きさを実感！スマホを差し出しても「画面に入りきらない！」大きさを実感！しました。お土産のリクエストに応えようと、混雑するミュージアムショップで、思い思いのお土産を買い求める姿もありました。



道の駅「かでな」では、基地と共にある沖縄の現実、米軍嘉手納基地で離発着訓練をする様子を見学しました。訓練機が、目の前を通り過ぎるときエンジンの大きさは、周囲の音が全く聞こえなくなることを実感！しました。



また、火災から再建中の首里城では、守礼の門で写真を撮ると共に琉球王国の文化を学びました。

夕食は、沖縄の古民家空間を再現したレストランで、沖縄料理を、ゆっくり、おいしくいただきました。



17日は、いよいよ最終日です。午前中は国際通りを散策し、最後のお土産購入を楽しみました。

午後の飛行機で那覇空港から伊丹空港へ帰ってきました。夕暮れの伊丹空港の大きさを感じると共に、三和分校近くまで帰るとすっかり日が暮れていました。バスを降りると、出発の朝のような肌寒さを感じ、これまた気候の違いを実感！しました。

修学旅行では、「非日常の体験！」そして「本物の実感！」を通して、ふだんとは違う「仲間力」、そして「自分のかくれた力」を引き出して、たくましい表情で家路につきました。